

各団体からの意見・市への提案

伊勢崎老人福祉施設協議会

会長 原 敬 様

【意見】

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの夫婦世帯が施設に入所すると、住んでいた家が空き家になります。近隣に親族がいれば家の管理、庭木の管理ができると思いますが、近隣に親族がない場合、雑草の管理などについての苦情がケアマネージャーに寄せられることがあります。

空き家を近隣住民の交流の場として活用し、その際のルールとして庭木の管理をしてもらうなどの活用方法やルール、仕組みを作ることが、空き家対策になるのではないのでしょうか。交流の場を作ることで、高齢者の外出機会が増え、認知症予防の効果も期待できると思います。既に伊勢崎市で取り組んでいるふれあいの居場所づくり事業のモデルにもなるとと思います。地域住民の誰もが集うことができる交流の場を住民同士の支え合いで作りませんかという事業で、現在、公民館や住民センターを活用し実施しています。より近い場所での設営であれば、気軽に歩いて出向くことができます。庭の草刈りについては、高齢者だけに限らず、利用者のご家族、大学生等の若い世代にも呼び掛けた運営が良いのではないかと考えます。

【市への提案】

- ・空き家を交流の場として活用できるよう、管理・運営の仕組みを作る